

## 第 26 回 定時株主総会 2023 年 9 月期 質疑応答の要約

2023 年 12 月 8 日（金）に開催した「第 26 回定時株主総会」にて、株主の皆様からいただいたご質問を要約して記載しております。

---

### Q1

サイバーセキュリティについて、地政学的リスクを加味した上での対策など取られているか？

#### A1 回答者：中山

社内ではセキュリティチーム 30 名ほどの体制を作っており、25 年間大きいトラブルは起きていない。また外部からの疑似アタックの演習を行うなど、発生可能性を下げている努力も勧めている。

### Q2

21 世紀を代表する会社になるための現時点での課題や温度感を教えてほしい。

#### A2 回答者：藤田

3 年前に「ウマ娘 プリティーダービー」が空前のヒットをしたことを主要因に、時価総額も 1 兆円程度まで上がったが、その減衰が今起きている。

2023 年第 3 四半期（4~6 月）決算説明会時に、今後増収増益を目指すとご説明したが、会社全体的に増収増益を目指すことの意味統一がかなり進んでいる。

しっかり実現していくことで株価を上昇させていこうというのが足元の状態。

21 世紀を代表する会社になるには、海外で成功しないといけないし、代表的なプロダクトを出さないといけないが、足元は増収増益にコミットし、株価上昇に繋げていきたい。

### Q3

「ウマ娘 プリティーダービー」に対する訴訟について、今後の見通しを教えてください。

#### A3 回答者：日高

現在、係争中のため、進捗をご報告することができない。引き続き、正当性を主張していく方針で取り組んでいる。

### Q4

「ABEMA」でのサッカー中継など、社長の個人的な好みで投資判断をしているのではないかと、もっと株主の味方になって経営判断してもらいたい。

A4 回答者：藤田

サッカーの中継や将棋、麻雀なども個人的に興味が高いものが多いが、興味強い分野だからこそ事業的にもうまくいっている面があると思っている。「FIFA ワールドカップ」への投資は、「ABEMA」の価値を引き上げるきっかけになった。ここにいる株主の方と同様、自身も株主でもはあるのでこれから増収増益で株価を上げていきたい。

Q5

株価が下がっているこのタイミングでストックオプションの発行をやるべきか？

また、現在女性の取締役 1 名しかおらず、男性目線の事業運営になっているのではないか？

A5 回答者：藤田

女性取締役については、クォーター制（一定比率女性管理職を増やす制度）の導入を検討しており、当社としても力を入れているところ。

回答者：中山

ストックオプションは 4 年行使できない期間があり、その間増収増益を目指すという株主の皆様と同じ方向を向くために付与する。

ストックオプションによる希薄化は、発行済株式数に対し 0.1%、過去の付与分を含めても 0.7%と軽微な範囲にとどめている。

Q6

事業課題※であげていた 3 点について、今後 1 年でここだけはよくしていくというポイントがあれば教えていただきたい。

※招集通知 21 ページに記載

A6 回答者：藤田

「ウマ娘 プリティーダービー」のヒットから 3 年、「ABEMA」、ゲームの新規タイトル、広告分野での AI や DX 等新しい事業に相当額投資してきている。

これから回収できる時期だと考えており、先は明るいと思っている。

Q7

LGBT 理解促進法もあり、トイレ等女性が安心して就業できる環境になっているか懸念している。

取締役の女性比率等に関して、無理矢理に数が多いのがいいとは思っておらず、女性の数だけでなく、実績のある方が活躍していただけるような会社であってほしい。

A7 回答者：藤田

当社は比較的新しい会社で、誰でも使えるトイレも社内に準備していたりと、LGBT への意識も高い方だと思う。クォーター制を見据え、一定数女性の枠を決めることで底上げをするようにしていきたいが、無理に数合わせするつもりはない。

Q8

FC 町田ゼルビアについて、昇格及び優勝おめでとうございます。

J1 に上がりこれから収益上げていくフェーズと思うが、ホームスタジアムのアクセスが悪い点について改善策など考えられているか？

A8

スタジアムは東京にあるとはいえ駅から遠く、試合の日は多くの来場者で交通が破綻してしまう問題がある。

J1 昇格が決まり、町田市もすぐに動いていただき、バスの増便が決まっているのと、既に承認されたものでモノレールの駅も近くに出来る計画がある。

アクセスの面は解決まで時間がかかる部分があるため、一定割合は国立競技場なども併用しながら頑張っていきたい。

Q9

財務諸表について、利益剰余金、資本剰余金が潤沢で素晴らしいと思うが、今後投資に使っていくうえで、メディア・ゲーム・広告、どのようなバランスで伸ばしていくのか？

また会社で重視している経営指標があれば教えてもらいたい。

また、その他資産の 240 億円とは？

A9 回答者：藤田

重視している指標は、特に PL の売上、利益をきれいに右肩上がりにしていくこと。

現在は、全社的に増収増益モードで一丸になっているため、大きな投資をというよりは既存事業でしっかりという話をしている。

ただ、「ウマ娘 プリティーダービー」での事例でもある通り、自社で有力 IP を持つことが高収益かつ事業としての広がりが大きいので、アニメーション IP への投資は強化していく予定。

回答者：中山

その他部分は、90 社ある連結子会社の敷金や、ビジネスに必要なライセンスなど。

Q10

他社だと、長期で株を保有している方を、優待という形で優遇しているケースがある。長期ホルダー優遇施策をご検討いただけると嬉しい。

A10 回答者：藤田

「ABEMAプレミアム」の優待は、昨年の株主総会でのご意見を実現させたもの。  
長期保有で特典が増えるというのは方向性も合致するので検討していきたい。

Q11

「グランブルーファンタジー」について、この下期ネガティブな話題が多く、ユーザー軽視の傾向がみられる。10周年や関連タイトルのリリースも控える中で、既存ユーザー離れを起こさないような施策で考えられていることはあるか。もう少しユーザー意見にも耳を傾けてほしい。

A11 回答者：日高

ご利用いただきありがとうございます。「グランブルーファンタジー」は、長く運用しているタイトルで、運営もユーザーの方とコミュニケーションを重要視している。  
今後は、リアル「グラブルフェス 2023」や、コンシューマゲームの提供など、ユーザーの皆様にご喜んでもいただけるような企画を予定しており、ご意見を活かしながら長く遊んで頂けるように努めていく。

Q12

1株15円の配当、昨年よりも増えてありがたい。  
業績から見ると減配もあり得たかと思うが、増配に至った理由を教えてください。

A12 回答者：藤田

当社は、かなり新規事業に投資をしていることもあり、利益が出るまでに期間を要し、その間株価が低迷する可能性がある。そのため、良い時も悪い時も長く持っていただきたいと考えており、経営指標をDOEにした。そのため、今期は前期比増配となった。

Q13

WWE配信が始まり感謝している。  
格闘技UFCの配信も出来ればお願いしたい。

A13 回答者：藤田

最初は少しやっていた。  
今は放映権が高くちょっと手が出ないというのが正直なところ。

Q14

5月に楽天グループ(株)に投資したと思うが、その目的は？

A14

昔の恩を返す為というのは全く関係がなく、純投資として収益が見込めると考えて投資を決定した。

Q15

現状、「ウマ娘 プリティーダービー」リリース前よりも利益が低い状態で、ヒットの反動だけでは説明がつかない。  
ゲーム事業の今後についてはどう考えているか？

A15 回答者：日高

ゲームを事業は、主カタイトルが複数あることが強みと考えている。

今は、連結子会社(株)Cygames 以外にも「FINAL FANTASY VII EVER CRISIS (ファイナルファンタジーVII エバークライシス)」、「呪術廻戦 ファントムパレード (ファンパレ)」など、日本の有力 IP のゲームを開発させていただいている。  
今後も継続的なヒットタイトルの提供に努め、安定的に利益が出るようにしていきたい。

Q17

ゲーム事業はボラティリティがあるが、祖業のインターネット広告事業は堅調に伸びている。

他のメディアと比較してインターネットだけ広告が伸びている中で、サイバーエージェントはどのようにそこを捉えているのか？

A17 回答者：藤田

そもそも広告はみんなが見ているメディアに出していくもの。

生活者がインターネットにたくさん時間を使っているのは明らかで、それが大きなトレンド。

また、インターネット広告においても、掲載先となるメディアの流行り廃りはあるが、代理店である当社は、商材を組み替えて広告主にニーズがあるものを販売している

Q19

社外取締役は個人的には株式を持つべきだと思っている。

現状株を持っていない高岡さんに、その考えを伺いたい。

A19 回答者：高岡

社外取締役は執行役に厳しい意見を言うべき立場として、個人的には株式を持たない方がよいと考えている。

Q20

常勤監査役について、再任候補として塩月さんが挙がっている。

2000 年に就任されてずっと監査役に就かれており、人材の流動性という観点からするとよくない面もあると思うがそこはどうか考えているか。

A20 回答者：藤田

高いモラルで会社のガバナンスをやっており、監査役にも良い影響を与えていると思っている、長く就いたことでの弊害が出てきたということであれば、代えていく必要があるが、大きな不祥事もなく、現状プラスであると判断している。

Q21

ストックオプションについて、個人的には7,350株上限なので多いとは思わない。

4年経過後から行使期間6年とあるが、ここは社員の平均勤続年数から考えているのか？

また優秀な人材を採用する為にもストックオプションについてはもっと強化した方が良いと考えているがどうか。

A21 回答者：藤田

ストックオプションの行使期間について勤続年数とは関係ない。

タイミングとしては、これから増収増益して株価を上げていくための意思統一。

これ以上大きくストックオプションを出すのは、希薄化も考え見送った。

優秀で活躍した人に多く出すという方針、長く頑張るモチベーションになればと思っている。

Q22

決算説明会での質疑応答が公開されてなくて、株主総会における個人投資家からの質問は公開されているのはなぜか？何か理由があるのか？

A22 回答者：藤田

コロナ禍でオンライン開催にシフトしてから、質疑応答は受けていない。

コロナ前は、アナリストや機関投資家、記者の方をリアルの会場で集めてやっていたが、質問によりミスリードに繋がったことが多々あったため、逆にちゃんと伝わらなくなったというのが理由。質問を隠すためなどは全くない。

-----  
※株主総会では、議案に関連するご質問とさせていただきます。

以上